

2020春闘スタート!!

主要企業の労使が意見を交わす「労使フォーラム」が1月28日～29日に開催され、事実上の「2020春闘」がスタートしました。議論の中で、経団連の中西会長は今年の春闘の課題として、新卒一括採用や終身雇用などの日本型雇用制度の見直しについて言及し、賃金の引き上げについても業務の内容や成果に応じて配分を変えていくべきとの考えを改めて示しました。

一方、連合の神津会長は「日本の雇用をとりまく大枠の問題意識は同じ」と一定の理解を示しつつも格差の拡大を防ぐため月例賃金の一律賃上げにはこだわる姿勢を強調しました。「どうやって、しぼんできた日本をもう一度膨らませていくのか、その中で、賃上げは非常に大きい要素ですから、そのことに各労使が汗をかかなきゃいけない」と述べ、月給ベースで4%のベースアップを重視する意向を表明しています。

会社は新年度をスタートするにあたり「事業計画」を策定し、その事業計画に基づき私たちの賃金も決められます。根本の賃金を増やすためには春闘で勝ち取るしかありません!

貨物労組はこの間JR総連の「統一要求・統一闘争」方針のもとで闘いを続けてきた結果、18春闘では19年ぶりにベア300円、19春闘ではベア200円を勝ち取りました。

今年は新人事賃金制度実施後初の春闘です。定期昇給はそれぞれの評価となってきましたが、ベアは全員が一律で賃金を底上げすることが出来ます。全青年部員で職場からの闘いを展開していきましょう!

20春闘を青年部が牽引していこう!!